週刊 時事経済

発行所
平市新川町 17
株式会社
時事経済新聞社
主幹　田原 登
電話　4775
毎週　土曜日 発行
定価3カ月　百円
一部　五円

勉強で評判の店
丸萬家具店
店舗　平市四丁目
工場　電六六三三
平市白銀町
電六六三四

小名浜で銅を精錬

東邦亜鉛　計画を繰上げ

小名浜に工場を建設する東邦亜鉛は三十五年度を初年度とする第二次五カ年計画にそって四十年度までに、電気銅生産設備を月間二千トンへ、電気亜鉛を同じく三千トンへそれぞれ増強するため工事を進めているが、同社はこのほど同計画を大巾に変更し❶電気銅精錬所の敷地が福島県小名浜に決ったので同地に月産千五百トンの精錬所を建設するとともに、安中製錬所の銅精錬設備（月産七百トン）を小名浜へ移設する❷小名浜の銅精錬工程中で出る亜鉛酸ガスを利用して月産六千トンの濃硫酸工場を併設するとともに、安中にも月産三千トンの濃硫酸生産設備を建設する❸電気鉛の増設は今月末で完成する月産二千百トンまでで中止し、その後の増設は当面見合わせる❹電気亜鉛の増強完成時期を四十年度から本年六月に、一きょに早めることになった。

この計画の中でとくに小名浜に新精錬所を建設し、安中の銅生産設備を移設することによって、銅設備を同地区に集中強化しようとしているのは注目される。

▽電気銅＝同社は現在沈澱銅スクラップを原料として安中で月間七百トン生産しているが、電解部門だけでは妙味が薄いため、かねて銅鉱石処理から電気銅までの一貫生産態勢を整え、名実共に産銅業者としての態勢を確立するため新しい精錬所を建設する計画をたてていた。

このほど小名浜地区に建設することに決め、五十八万七千四百平方メートルの土地買収をほぼ終り近く工事に着手する。同工場は第一期工事として三十六年度末に月産五百トン、第二期工事として三十七年度末に五百トン増強し計千トンとする。また安中の月間七百トン生産設備を三十七年度末までに小名浜へ移設するしたがって三十七年度末までの同社の電気銅生産設備は月産千七百トンになる。

なお四十年度までには当初の計画月産二千トンを上回り月産三千二百トンへ増設する意向であるが、具体的な計画はこんど検討することになっている。

▽濃硫酸＝小名浜の電気銅生産にはいままでの沈澱銅と異なり、硫化鉱を使用するので鉱石を焼くとき出る廃ガス中の亜硫酸ガスから濃硫酸を生産することになった。生産設備は精錬設備の建設と並行して三十七年末までに完成の予定で、月産能力は六千トンが予定されている。

なお同じ小名浜で電気銅精錬所を建設する三菱金属鉱業などにみられるように硫酸利用の面で化学会社とコンビナートを結成する傾向があるが、同社は現在の硫酸の需要好調からみて化学会社と特別に結びつく必要はないとしているまた現在安中では亜鉛精錬にともなって月間三千トンの稀硫酸を生産しているが、電気亜鉛設備の増強にともない濃硫酸月間三千トン生産設備を三十七年度末までに建設する

以上、新しい電気銅精錬所の建設、安中の電気銅精錬設備の移設と付帯工事および濃硫酸生産設備の建設など工事資金としては三十六年度八億円、三十七年度十二億円、計二十億円が見込まれている。

平駅前の大拡張本決り

待望の調査費決る

四十一年度に完成予定

平駅前の拡張は県都市計画審議会の認可によってこのほど調査費として国庫補助二百四十万円が交付されることに決定、十一日県の高橋都市計画課長が来平、市当局と拡張事業の促進について懇談した。

総工費五億円、五カ年継続事業で行うこの計画も愈よ一歩前進したワケである。

この調査費は三十六年のもので三十七年度から本格的に実施に着手する。

このため市では三十六年度に拡張区域十万平方メートルの測量、地主、借地人、借家人等を調べ、実施設計書を作製するが、都市計画審議委員十人（地主六、借家、借地人二議会、市当局各一）を選出して、実施案審議に当る。

この国庫補助の調査費が決まったことは、三十七年度からの拡張実施を国も県も認めたことを意味し国、県の補助が交付されるワケで、四十一年度までには平市の玄関口である駅前は見違えるほど広く立派なものになるワケである。

またこの拡張事業と併行して白銀町の鉄道公舎移転も手掴町に代替地が既に決り公舎アパートが建てられる事になる駅前拡張による商店街はビルを建設しこれに収容する既定方針通り進めるワケである。

急げ民間テレビの解決

田原　登

論壇

本県の民間テレビは福島テレビの名のもとに仮免許申請をしていたが二月末に至ってついに失効したので開局はいつの日に来るものか判らない状態となった。

福島テレビは郵政省の勧告で競願の五社が合体し二億五千万円の資本金の払こみを完了、創立総会を開くに先立って重役割振り問題で暗礁に乗りあげ、物別れとなったため仮免許申請がダメになったものでその醜体を天下にさらしたことは県民のよく知っているところ

一丸となった五社のうちこれを大ざっぱに色分けすると福島民報（ラジオ福島）系が三社、二社は福島民友系であるが、資本金の払こみは双方同額の一億二千五百万円で、だからその権利も義務も同格であった。

しかしこの両者の争いのために本県だけが民間テレビのない県としてまた取り残され劣等感を抱かざるを得ないことになった責任はまことに重大で、福島テレビ関係者は県民の前に顔向けができない立場に立ったものでは弁解の資格がないのではないだろうか。

ところが民報も民友もそれぞれの紙面を大量にさいてテレビ問題をとり上げ何度も自己の主張を報導している。これに対し県民は果していかなる批判と感情をもっているかということに対して本県言論界の最高位に立つ両者が知らないハズはないのだが、それを知らぬふりをしている態度はおかしいではないか。

民報系三社はすぐ免許申請を出した。

民友系二社は福島テレビはまだ解散したワケでないからという理由から再申請をひかえているようだが、この両社がとっている態度に対して批評をするものがないが、ことここに至っては双方は最早や相争うべきではない。

県並に県議会がこの問題をとりあげて郵政省と折衝し❶双方は一切を水に流す。❷県と郵政省の取計らいに委す。❸如何なる裁断にも従う。というようなことにでもしなければならぬと思う。でなければ民間テレビ問題は解決しそうもなく、県民はいつまでも馬鹿を見なければならない。県と県議会の善処をうながしたい

放湯の利用を約す

沼田市長、平側に好意示す

諸橋平市長、大泉議長、強口市議は十三日沼田内郷市長を訪れ、かねて問題となっていた御厩の放湯の利用について懇談した結果、平市側の要求を沼田市長が諒承、平市政のために協力しようとこれまでにない好意を示した。今後更に具体的に折衝し解決することになった。

四月競輪も好調

四月平競輪は花時にめぐまれて売上げ五千九百二十七万八千二百円の好成績であった。

納税優良者を平市で表彰

平市では三十五年度納税者、団体表彰式を十四日公会堂日本間で開いたが、受賞者左の通り。

（納税特別功績者）▽個人＝多田井笑次郎（大工町第三）遠藤晃（田町銀座）清野延由（新田町）高木勝房（中神谷五）薬谷義長（下高久古川）▽団体＝塩組合（代表中野二郎）

（永年勤続組合長）▽二十五年＝根本久光▽十五年＝中野己喜蔵　根本安憲　鈴木正道　坂本喜代松▽十年＝塩庄造　佐藤義衛　小林藤久　久田太平　川上俊一郎　加藤顕考　中野安吉　佐藤定平　四家健雄　大峰喜三郎　笠原重一▽五年＝鳥海菊五郎　坂本昌蔵　鈴木勇男　長谷川政弘　片平長志　吉村惟道　岡田朝五郎　伊藤正之助　山内信　松崎守斌　石井久治　加藤一三　大勝秀平　三瓶正見　福田福一　根本武男　佐藤松二　江尻三四郎　遠藤精哉　山之内定之助　須藤肇　猪狩一　北郷道男　村田安正　大平誠　大場正衛　富岡定一　渡辺恭衛　猪狩恒義　山名伝　小野進一　遠藤安政　猪狩好雄　鈴木正　大和田勇夫　大谷喜隆　新妻恒治　大峰安之助　小宮茂　菅波猶吉　大平太七　比佐米五郎　鈴木一寿　佐藤金治　佐川喜平治　吉田将尾

本社辞令

入社　御代　一郎

寺平池に放魚

平市北神谷部落民三十人で使用している寺平池（やく五反歩）にこのほどフナ七貫（やく百尾）コイ十貫（やく千尾）を放流した。来年入漁料をとり開放することになった。

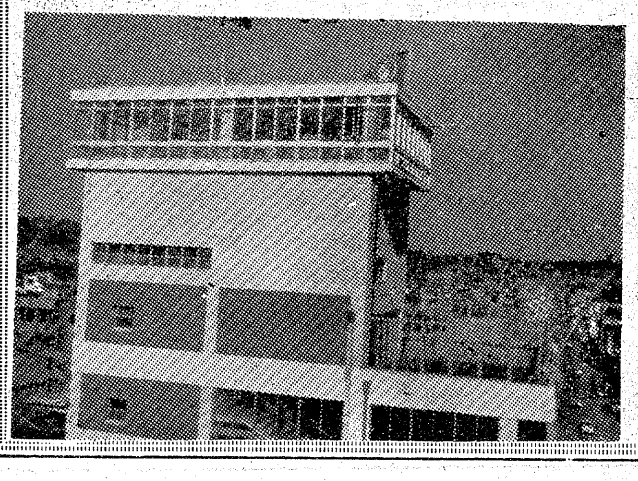
物見が岡

五市公営バス問題で十二日平市役所に五市長全員をはじめ五市の実行委員が集まって、常交と次の話し合いの日をいつ開くか、株の分譲、その数などについて打ち合せたもようだ★結局次の話し合の日取りは決めずいま少し検討することになったが、五市長が全員出席したことは近ごろ珍しく一層結束を固めて問題の解決に当ることになったことは頼母しい★五市側はバス路線権獲得の大目標を放棄して大きく譲歩し、常交と共に協力して民主的にバスを運営し以って地域住民の福祉を増進しよう★そのために必要な限度の新株を出してもらってこれを買受け、常交はその資金で一層完ぺきのサービスをせよと云う五市側の要求は決して無理とは云えないだろう★五市が民意に添ってバスの申請をしたもので各議会がこれを決議しているのだから運輸省がいかに既成業者をよう護する政策をとっているとしても民意をたたき潰すことはできない

★だから話し合いで解決せよと云うことになったもので、そのへんの野次馬の声に乗せられて大局を見失なったら悔を残すことになろう。ともに感情を捨て公共の立場から良識を出し合えば解決はそんなにムヅカしいものではないと思う。

GRAND ANNYVERSALY SALE

全館落成記念大売出し　粗品呈上



楽しいお買物の店として、目覚しく発展してまいりました鈴藤は、皆様の限りない、ご支援によりまして、全館落成の日を迎えました、新感覚あふれる品揃え、冷暖房の楽しい売場、ご便利なエレベーター、憩の間パーラ鈴藤、地上三十米の鈴藤スカイサロンなど常に躍進する鈴藤の現状と明日への展望を、こゝにご紹介申し上げます。

全館落成を記念して特別大売出しを催し皆様の日頃のご引立にむくい度く価格に品質に真心をこめ、全店総力をあげて御奉仕させていただきますご近所お誘い合せの上御来店を心からお待ち申し上げます

社長　鈴木藤太郎

4月15日 — 20日
売出中は7時まで営業
楽しいお買物
鈴藤
TEL（代）3166

設備が全く完備

好評な平自動車教習所

去る三月二十九日付で東北、北海道で最初の公認となった内郷市ヘルスセンター裏にある福島県平自動車教習所は公認以来連日七、八〇名から一〇〇名位の教習を受けるもので賑っている。

同教習所は指導員八名と敷地一万平方メートル（三〇〇坪）に大型一面、中型三面、小型一面のコースをもち、又教習用車両は大型一、普通十二、三輪一、軽自一の合計十五台を有しているほか巾七メートルの十字幹線や、巾八メートル外周四〇〇メートルのコースもあって設備が完備しているので、こゝで規定の教習を受けただけで資格がとれるとあって非常な好評を博している。同教習所では車両に関するどんなことでも質問に応ずるから遠慮なく照会してほしいといっている。電話は平の六七二三番

ある村の話（7）

現代世相を切る

バーの出現で町の様相変る

バー「やま」が新らしく開店したのは初夏の風が吹きはじめた頃だった。商店の立ち並ぶ部落の一本通りが北の方にはずれるところに色彩豊かにローマ字でYAMAと書かれた店が出来たのである。

バー「やま」が借りた家は、それまであまりうれしくない噂があってなかなか良い借家人が見つからなかったところらしい。噂は死にまつわる暗い内容の言い伝えがあったので、今度前景気のいい借主が見つかって家主の若い未亡人はほっとしたそうである。

道に面した表はまっさおなペンキで一色に塗られて一面の壁となり、YAMAという字が原色の赤でくっきりと浮かんでいる。出入口のドアは新たに左横に小さくつくられた。開店した夜から客足は順調にあるようであった。

髪の毛を赤く染めてアイシャドを病人のようにつけた女が四人も乗り込んで来て凄いサービスをするのだという。

A町の先進的な冒険好きな男達はとにかく出かけてみるらしい。なにしろA町には全部の部落を合わせても、四、五軒の食堂と飲み屋があるだけで、ステレオのある横文字で書いた名前のバーは稀少価値と新鮮味がある。三里も四里もバスに乗って大きな町に出なくとも、自分の町で唇の赤く塗られた螢光灯に怪しく光る瞳をした女達のそばで酒やビールが飲めるのだから素晴しい魅力である。

しかしA町には新らしいものはやらないという風習みたいなものがあって早速部落の年輩の人達は「やま」の寿命もいいとこ三ケ月だ、などといいはじめた。

港のある町から来たのだという若い女性達は、うらぶれた部落の表通りに花を咲かせた。

彼女達の夜の仕事ぶりは知らないが、昼過ぎになって起きてくると何人かが薄い下着のままスカートをたくし上げて、表の自動車にはねられて泥だらけになった青い壁を雑布で洗い落すと、残りのものは七輪に火を起したり、離れた井戸からしぶ水を汲んで来たりしている。

そういう姿は非常に素直に感じられた。

それから起った様々の騒動が思いも及ばなかったのはやむをえない。

私は商売上の関係から彼女らと知り合いになった。用事があって夕刻近く店を訪ずれると中はうす暗く、小さな灯が一つ点いているだけ。タバコの煙が充満していてうごめいている男と女の影もはっきりしない。誰れがマスターで誰れがマダムなのか判らない。私は立ち往生した。その時チークダンスのカップルが私の前で二つに別れた。

二人がこゝの主人とマダムのようである。私は用事を完全に済ませないで飛び出して来た。

客足が毎晩のようについてくると隣近所がノイローゼ状態になって来た。うるさくて眠れないだけではない。夜の十二時過ぎまで店の前の路上といわず家の陰といわず男女のせん情的なポーズが展開されて奇声が起る。隣組は靴屋も呉服屋も米屋もひどく腹をたてた。

やがて駐在所の巡査が何人かの若者達を訪ねまわり始めた。嫌な噂が町に広がり彼はそれを確かめなければならなかったのである。もちろん確証が上る筈もなかった。しかし隣組の投書や巡査の動きがバー「やま」の華やかな経営方法を改めさせたようである。

ステレオのボリユームは、ぐっと弱められ深夜の嬌声は控え目になった。「夕焼け空」が真ッカッカ、トンビはヒヨロリと笛吹いた。ホオイーのホイ」五万円もする茶ダンスほどもある電蓄から遠慮なしに流されていた歌も一段と低くなったようである。

経営者は若い男のようだが、実際に金を出しているのは、よそ者だそうである。しかしA町の人々はその人が誰れでも関係のないことである。

店の景気がいつまで続くかは誰れの眼にも明らかになって来た。思い切って騒げばそれだけ刺激の欲しい連中の巣となろうが、周囲の反撥を喰いおとなしくすればもう興味が失われて客が減っていくばかり。その影響はたちどころに現われて来た。五万円の電蓄は頭金を入れたたけでA町に一軒しかないラジオ屋は二回目の月賦を何回かけあっても貰えない。酒やビールもつけの利くところは無くなった。

沢山の商店で店や女達の借りが山積みしていって、それがストップした時はもう遅かった。

難題はバー「やま」のおとくいさんに及んで来た。少しでもつけの残っている若者達は彼女らの艶やかな訪問を受けそのために居留守を使ったり用心棒みたいな男とあわや喧嘩という場面が続出した。

私の同僚は酒が好きであった。彼もまた「やま」に飲みにゆき、ごく少額のつけで淑女達の訪問を受けたのである。

同僚はハンサムでやさしい男であった。彼に一目ぼれしてしまった、かおりという名の女は、つけの回収にことつけて私と同僚の住む家に毎晩のようにやって来るのである。

真夜中の一時頃、ガラス戸をトントンとたたきながら息をするような声でかおりが呼ぶ。「開けて、あけて。かっちゃん（同僚の愛称である）」

二人は眠ったふりをする。室はまっ暗である。

「店が今済んだのよ。遊びに来たのよ。かっちゃんてば起きて」だんだんガラス戸の音が大きくなり声を張り上げて来る。

私は山の中で熊に追いかけられて体一ぱいの穴に逃げこんだみたいな、汗のにじむ気持でふとんをかぶっている。

「うるさいなあ、隣に迷惑じゃないか」我慢出来なくなった同僚は爆弾を抱えこむようにかおりを入れてしまう。そうなると一晩はめちゃくちゃである。もちろん私は眠ったふりをしているのだが、二人の会話が始まるのである。

「かっちゃん、せっかく遊びに来たのになんで怒った顔しているの」

気の弱い同僚は気が変になりそうな頭を横にしたりしながらいう。

「借金は払うといったろう。今度の月末までに必らず持っていく。こんな夜の一時頃本当にひどいよ」

「ちがうのよ。つけなんかわたしどうだっていいんだってば。かっちゃんのとこに来たのは自分の気持で来たんだから」

そういう調子の会話が続き女は結局、石のようにかたくなって坐っている男をあきらめて帰っていくのだが、それが何日もつゞくのである。私は同僚に詰問した。

何か他に弱味があるのだろう君は。彼女は何故あんなに熱心なのだ。一日置いて四回目に彼女が深夜の訪問を終って帰っていった時、同僚は寝たまま小さな声で大変な告白をしてくれた。彼女とある夜ある所で気まぐれなデイトをしたそうである。二人ともめちゃくちゃに酔っていた。

いつか眠ってしまい目が覚めた時は室に一人きりだった。そのまま帰って来てしまって何くわぬ顔をしていたところ若いもの一人がある時彼をひやかしたのだという。

「かおりはその晩酔いつぶれて誰との時にもかっちゃん、かっちゃんと呼びつゞけたそうだとよ。たいしたもんだな」彼は本当の意味がわからなかったのでそのまゝ聞いていたのだが、かおりが夜半に訪れるについてあ然とした。

彼女はあの晩ずっとかっちゃんと一しょに寝ていたと信じこんでいるのである。彼女の瞳はまるでギリシャの神さまを見つめるように彼を深く見つめた。

強烈な愛情あふれる彼のエネルギーに魅せられ、すっかりとりこになってしまったのである。絶ちきることの出来ない愛情が涌き出て一ぱいのようである。何十日目かの次の朝気の弱い彼が重大な決断力を示した。

「俺は会社をやめて、九州の親戚のところに行く。かおりをつれて」私はあんまりのことに馬鹿みたいになった。

「会社をやめるって、かおりを連れてゆくって」後はどんな言葉も出ない。

彼の話はこうだった。始めは腹が立った。やがてそういう女に同情しはじめた。今ではもっと違った深い気持になっているという。

果たして慰みものにされたかおりを全身で受けとめることが出来るか自信がないが、何かそうしなければならないような運命を感じたのだという。

それで惰性で続いて来た不本意な今までの生活を捨てて彼を待っている九州に行く気になったのだという。

その決心は遂に変らなかった。女は全く不思議なほど彼に同化されて、店を止めてまじめになった。ある夏の朝、六時の一番のバスに旅仕度をして若い男と女が乗りこんだ。男は体はさほど大きくはないが男らしい肩をして頼もしかった女は黒い髪を短かめに切って顔に化粧もほとんどしない苦労を重ねた農家風の娘に見えた。

A町のバー「やま」が三ケ月でつぶれて沢山の借金を残していった頃、僕は前の同僚の代りにやって来る新しい友をバスの終点で迎えていた。

（信）

× × ×

平の木材屋植林

平林友協同組合（組合長佐藤福太郎氏十一業者）では緑化運動にちなみ平営林署に協力小川町渡戸地内国有林の伐採跡に去る七日二、五ヘクタールに赤松、十四日同様二、五ヘクタールに植林した。のべ百二十一人出動、一人平均二百本を植えたから合計二万四千二百本植林し営林署を感謝させた。

平鉄工協組総会

平鉄工業協組（関口義久理事長）では来る二十四日午後一時から公民館で総会を開き、定款の変更、役員の改選を行うが、このほか富士電機の系列化に入るかどうかの話し合いもする。

岩つつじ真盛り

夏井川渓谷の「岩つつじ」が咲いて目下真盛り、江田～川前間の渓谷の美しさに列車の乗客は思わずかん声をあげ、杖をひく人も多い。二ツ節山も咲き初めて美観を呈している。

不動産売買仲介評価貸家斡旋
公認 平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際色川材木店内電二三六一番

タオルの卸デパート
日進の名入れタオル製品
日進商事 磐城市バス終点電(イワキ)3768

溪流絶景 奥飯坂穴原温泉
穴原ホテル
電(飯坂)三六七

南伊豆海岸 稲取温泉
白雲閣
穴原ホテル支店 電(稲取)三二〇

発売元 報徳物産株式会社
平市新川町 電 六四一五 五五二一～二三

日立モートル、電気器具販売
各種ポンプ修理販売
那須ポンプ工業所
那須清治
平市正月町六一 電三八〇八

和洋家具の注文承ります
すみたに家具店
平市一丁目角（才槌小路通り）
電話 四七一二
工場平市尼子町専売公社前

甘太郎焼
真根井菓子店
平市銀座通り 電四〇二五

平商工会議所に怪事件二ツ

吉田は数十万円

拐帯逃走

今度は五十二万円雲がくれ

平市菱川町平商工会議所（会頭山崎賢助氏）に昨年以来怪事件が二ツも発生し問題となっている。

その一 平商工会議所職員吉田忠（三〇）は昨年末ごろ突如行方不明となった。同所で調べた結果、多数の会議所会員から会費（五千円―一万円ぐらい）を徴収して拐帯行方不明となったものでその被害額は数十万円に上る見こみで平署で捜査しているが未だ判明しない。

吉田は内郷市からの通勤者で平商卒業者珠算一級の免許所持者。会議所には就職わずか半年ぐらいだが女関係が出来て公金を詐取逃走したものと見られている。

その二 去る三月二十七日夜事務所内のロッカーから現金五十二万円が消えてなくなり平署は内部の者の仕業でないかと捜査を進めているがキメ手がなく、なぞに包まれたような事件となっている。

盗まれた現金は二十七日山崎会頭がもってきた決算用に一万札ばかり五十枚の五十万円と、このほか前にあった七万円を和田飛古市会計係がしまったが、当日は会頭など役員改選があったので職員の上野野中、和田の三氏が酒を飲み夜九時すぎ、野中氏が同所の管理人でもある和田氏が寝ているのを起こして「防火委員会の立替金五万円を返さねばならぬ」と五万円を受取り、九時半ごろ三氏は事務所から帰ったといわれるが、翌三十八日残る五十二万円が消え失せたというのである。

和田会計係は酔っていたためロッカーのカギを閉めたかどうかはっきりしない。金庫があるのに何故にロッカーに入れたなど疑問が多く怪事件となっている。

南方の漁場開発へ

木村代議士ら

六月にフィジー諸島へ

木村守江代議士らは国会代表の南方漁場開拓使節に選ばれ松田鉄蔵（自民）赤路友蔵（社会）両代議士と来る六月はじめごろ南方のトンガ王国を訪ね、漁業資源の開発や、日本側出資による「漁場基地」をつくる計画で、一行はサローテ女王、ツニギー皇太子と会見して話し合うことになった。此処は南太平洋フィジー諸島で三百余の小さな島だがキハダマグロ、メバチマグロ、イワシ、タコ、エビ、タイなどの資源が多くあるところでNHKテレビが世界の秘境と伝えたのにヒントを得てこの折衝に当ることになったもの一行には水産関係者も数人加わりホンコン、オーストラリアを経てフィジー諸島の各国を訪問後、カナダ、アラスカを訪ね、サケ、マスの資源調査をなし、更に南米チリに行き北洋サケ、マスを南極圏で養殖する計画も折衝する方針だ。

木村代議士の話―北洋漁業が不振なとき南方に漁場を捜すことは必要だと考え、自民党の水産部員でもある関係から調査、折衝することになったものだが、何とかものにしたいと思っている。

香山馬伯の作品頒布会

代議士木村守江、諸橋元三郎鈴木常松氏ら後援で四倉町の日本画家香山大宣氏の作品頒布会を開くことになった。

香山画伯は地方まれに見る手腕力量のあるしかも良心的な画家で親まれている。頒布会費八千円ですでに十余名の申込み者が出ている。

公の像 藤安銅 原形できる

建立は七月か

平城主安藤信正公の銅像は愈よ近く完成する。平市八幡小路彫刻家本多朝忠氏の手で二年前から制作に着手してきたが、このほど粘土で原形ができ上った。高さ三メートルの大きさで素晴らしい出来栄え維新の進歩的外交官でもあった安藤公の面影が躍如として現わされている。近く石膏で型をとり銅像に鋳造されるが出来上れば松が岡公園の台石に建立されるが、七月ころになる模様である。

彫刻家の本多氏は城主としての真姿を現わすためにあらゆる資料を集めて検討したが、安政五年勅書をもって単身水戸藩に乗りこんだ肖像画がもっともふさわしいものと認めそれに本多氏の独創的イメージを加えて制作したもので、完成の暁は戦時中に献納したものよりはるかに優秀なものと好評を受けようと思われる。

あたりバッタリ訪問記 (28)

一介の職人から 一流家具店に

奇智に富む 根本春三氏

平市三丁目丸万家具店経営者根本春三氏（四三）を訪れる

「わたしはタンス党総裁である総裁にしたのはお客さんが買ってくれてわたしを支持するからである。わたしはアメリカ大統領ケネディと同じである。しかしそれは年令だけ…」といった調子のユーモアに飛んだ話しぶりが次から次と流れでてお客さまたちとたちまち馴染む巧妙な話術の使え手であるこうした奇智ばかりではあるまいが此処十年ばかりの間にメキメキと頭角を現わし、今や平市内の家具商のなかで一流どころの存在となり、その活躍を注目されている。

根本氏は一銭の資本も信用もない一介の職人だった。東白川郡古殿町に生れ十五のときに平市土橋のすみたに家具店の小僧となって七年間家具造りを仕こまれた。

そして一人前の職人として道具箱一ツを肩にして大町の吉田家具店、新川町の伊藤家具店などで職人生活を続け、日支事変が起って間もなく昭和十三年から十五年まで満州で戦場生活、傷え軍人となって仙台陸軍病院で病床生活。

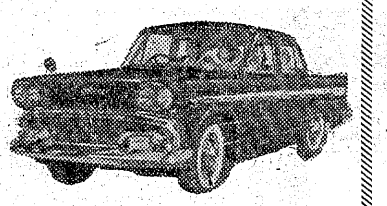
戦後の食糧難時代には造った家具とお米や野菜と物交するなど苦難の道を歩いてきたが職人生活で一生を送るよりも家具商人として大きくデビューしようと決意、二十四年白銀町に十二坪ばかりのバラック工場を建て、弟子一人を雇入れて根本家具製造販売店として始めた。だが金がないので一升ビンで塗料も買えない始末だから造ったものがなかなか売れず貧乏を続け、苦心さんたんしているうちに二十六年ごろから、急に茨城方面まで販路が拡張し、ようやく芽が出初めたので翌三十七年に工場を三十坪ばかりのものに拡充して勢いづき、翌三十八年四月いまの四丁目に店舗を開き、店名を丸万家具店と改め、このほど現店舗の東二軒隣りに店舗を新築、一両日中に引越しするが、新しいセンスと積極的な経営方針が図に当って繁昌している。

机の下にはいつも一升ビンがかくされていて、話題がとぎれたころに左党がたに〝チョット一ぱい如何です〟とのサービスに恵比寿顔になるお客もあって「好意のもてる面白い男」と客の魅力となっているようだ。

（写真は根本氏）

土木建築
株式会社 翁組
平出張所
所長 吉田満
平市田町一ノ四
電 二〇五六

はるです 花です
タクシーは尼子です…
（電代） 二一七五・二六四〇
好間営業所は 三五七二
草野営業所は 五六四七
平市二丁目 尼子タクシー



第168回関東、中部、東北自治宝くじ
1等 300万円
抽せん 5月1日
第167回宝くじ 抽せんは4月21日
受託 日本勧業銀行

ネクタイ ランドセル 帽子
ワイシャツ 鞄 靴 学生帽
化粧品
バンド
平市二丁目 電5722
平市三丁目大通り 電5723
平市駅前大通り 電5721
百合 ひゃくごう

春です 花です
ほっぺたが まっ紅
おいしさ いっぱい
元気いっぱいお手伝い
今日のご馳走なあーに？
たいら支店
本店 緑屋
平市中央通駅前 TEL 2497
平市一丁目 TEL 2539

実地試験免除！
県下最大のコース
最良の施設！
何時でもどなたでも練習ができます
大型、普通、三輪、軽全車輌共実地試験免除です
福島県公安委員会指定
公認 福島県平自動車教習所
内郷市ヘルスセンター裏 電 六七二三

御花見にピクニックに
幕の内弁当と すしと
料理の詰合せを…どうぞ
百五拾円より
寿司の江戸川
平市紅小路店 電二七二七
才槌小路店 電三〇二一

一位入選はジミな茶色です
二階のオープンシャツ人気投票は第十四番が一位でした。ご芳名は
鈴木 広男様 平市田町バーロンシャン
高橋 邦子様 平市中平窪細田
渡辺 兼子様 平市梅香町一六
遠藤 敏子様 平市八幡小路七六
大庭 協平様 平市南町五三
笠野 好広様 平市仲町
坂本 周三様 磐城市江名南町八
山田 富慧様 久ノ浜町田之綱
舟生 春芳様 勿来市関田南町
木村より子様 久ノ浜町駅前
平市 藤越

平ブナ三十五貫

横川の二か所に放流

夏井川漁業協組（組合長金古政通氏）では去る六日横川の赤沼と仁井田地内に平ブナ三十五貫匁を放流した。郡山方面から仕入たもので、十四、五センチの大きなものばかりで観光シーズンのつり師誘致に一役買ったもの、横川には日鉄八茎鉱山から流れてくる鉱害による魚族の破害が少なくないようで、時折り魚族の死体が発見され問題化しているときだけに、放流後間もなくつれる平ビナ放流は太公望たちを喜こばしている。

鈴藤で盆栽展

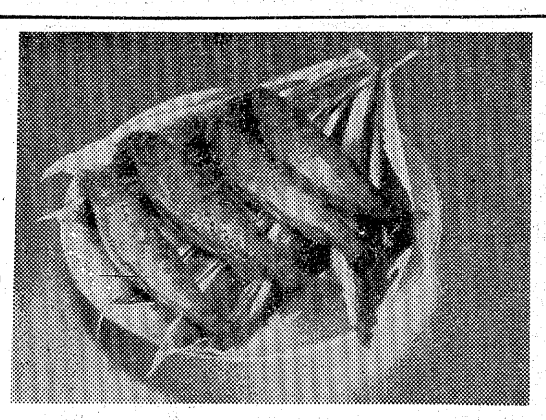
平市三丁目のデパート鈴藤では愈よ十五日から全館開館、八階屋上の遊戯場などはよい子たちで埋まる盛況を見せているが、五階では十二日から十七日まで盆栽展示会を開き観覧者で賑っている。

猿倉公園でボート開き

石城郡小川町（町長若松晴司氏）では観光客誘致に猫鳴山のローンスキー場を設けこの春の草が伸びるころから練習者は押しかけるものと期待しているが、西小川の猿倉公園の二ツの池に町内の青年有志らがボートを浮かべる計画を立てていたが十隻を購入し、十六日にボート開きをする。同公園は風致に富むところでサクラの花が散った頃には附近には藤が咲くので探勝者が押しかけるものとみられている。また猫鳴山のツツジとフジは数百年を経た古木が数百本あり、初夏には見事に開花するので昨年小川町観光協会で手入れをしたので今年から花みる人たちで賑うものと期待している。

四時川の山女魚釣り

牧野釣心（平釣友会幹事）



四月の声を聞くと、矢も楯もたまらず、魅せられたように渓流に入る。待望の山女魚が呼んでいるからである。紫に煙る山肌に残雪が斑点を刻んでいる。雪代のせせらぎが岸の猫柳を洗う。冷たい渓谷にも春の訪れが見える。四月一日の解禁には必ず山女魚釣りに出かけることにしている。今までは釣り歩いた石城地方の川は、南から四時川鮫川支流の小松川、戸草川、入遠野川支流の天王、宮沢、入定川、好間川支流大沢、根古屋沢、小玉川上流、夏井川支流、門八、三阪、鹿又、田代、横川、仁井田川上流等。大久川、浅見川、木戸川、富岡川、熊川、高瀬川これらは双葉郡になる。

以上の川で魚影の濃い川をあげれば四時川が第一である。然し、数年前と較べれば今では大分減っている。今年既に二月十五日の旧正月に土地のM氏は六十あげたという話をきくし、男大平の永井氏は三月になると釣人の来ない日はないと言う。早く来い、来いという催促の便りをよこす。遠くは東京、日立からハイヤーでおしよせる程である。これではどんなに豊富な山女魚も少なくなる筈である。何とか保護する方法はないものだろうか。然しいくら攻めても絶えることがないから不思議である。昨年は数回出漁したが、四月下旬の雨後の笹濁りに出かけて二度とも三十数尾あげたことがあるそれも皆型揃いであった。

釣場にゆくには勿来駅下車入旅人ゆきバスに乗り、川部を経て経栗下車、川を渡り南大平分教場をよこぎり、九十九折の渓谷を右にふ眼し、横川発電所、ここから更に男大平まで約一里半、歩くのが大儀のときは、南大平でトラックに便乗させて貰えば男大平までゆける。オートバイなら平駅から一時間四十分位かかる。四輪車なら男大平を経て中沢まで、道路が昨年末完成したので、すぐ釣場である磯原駅から花園神社ゆきのバスにのり花園川を釣り上り、弥太郎坂を越えて小川の部落に出ることができる。東白川郡からも入ることができる。小生は大がいオートバイを飛ばす

去る一日、未明、同行四名とジープで、四時川に出漁。男大平の永井氏に車を頼む。五時半というのに既に先行者が二人ある。四人でそれぞれ釣り場を分担する。小生とI氏は宮行部落、中川合流点から釣り上がる。川水は雪代で笹濁り、加えて曇天の好条件である。

カーブの淵で二、三回ブドウ虫を流すと六寸位のがきたその上の深みの岩がけで七寸位のが来たが、バラして終り流れにさからい、タテは糸鳴キギ、ジャジャ虫、チョロと試すが二度と喰わなかった。釣友はここでねばる。まだ凹地には雪が残っている。その上の恰好の淵でジャジャ虫を使ったら一流して来た。毎年釣れる所である。山女魚は岩魚や鮎と同様に、石を釣れというが確かに岩がけに身をひそめて流れくる餌を狙っている。竿は二間半、タテ八厘、長さは竿一杯、又は一間半位にする。ハリは鮎のかけばり伊豆袖、矢島、トンボ、八分半から九分まで。

秋田ヒネり八厘から一分まで、ハリは大きくても口が大きいから差支えない。錘は軽い方がよい。カミツブシ極小か板オモリを使用する。キギのときは錘なしでもよい。すべて餌を自然に流すためである入遠野天王のベテランO氏はオモリを使わず常時キギ一本でやっている。

目印はセルロイド、山吹のしん、毛糸、水鳥の羽毛などを二ケ所につける。タテの位置とアタりを見るためである。淵、深場を流せば型は良い。この場合は目印は二分大の赤の玉浮子でもよいが、瀬を流すときはまずい。既に瀬に出ていたが、然し型は悪い。山小川に入る深場で八寸五分位のをキギで釣る。タテがふけると同時に手首のスナップであわせる。大物は流れにさからい、タテは糸鳴する。水中深く突っ込み、それをいなし竿をためて、ヘチへよせる。二つ三つ釣って、小川の部落に出る。上流はまだ荒していないので魚もカドくない。

小川橋に出る。部落に結婚式があり、鄙びた里の花嫁が美しい。暫し釣りを忘れて、俗念に戻る。花園神社から来る道路が見える。

東白川の鳩の宮に通ずる道は人夫たちが崖を切り崩していて、小生らを珍らしそうに見ている。橋の上で休んで仕掛を直していると、「先生でないですか」とハイキング風の若い二人が近ずいてくる。流行のバックを肩にかけ、カメラをぶらさげている。こんな山奥で私は名を呼ばれて驚いた。誰であるのかすぐ思い出せない。「磐高の卒業生の……」といいかけると、「一昨年卒業して今、早大に行っています。先生には漢文を教えられたKです」という。「今度、東大に入ったY君と同窓だったね」というと「そうです」と答える。ようやく彼のことを思い出した。

磯原から花園までバスで来て花園神社から川沿いに登って来たという。五万分の一の地図を見せて、この附近の地形を説明した。花園川では釣人が盛んにやっているのを見たが、釣れたかどうかわからなかったという。

山女魚を知らないというのでビクの中から大きいのを出して見せた。錆は完全にとれていたので安心してみせることができた。又、花園神社へ戻るとか言って別れた。

学校がある。校門には北茨城市小川小学校小川中学校の文字が刻まれている。北茨城市役所のジープが校庭に止っている。以前は関本村山小川であったのが最近市に合併したので、近く磯原からのバスがこの部落まで延長するそうである。山女魚は年毎に減ってゆくわけである。部落を通り、右牛縊（ウシクビリ）、湯岐を経て大平に至る。左花園を経て磯原に至ると書いた道標をみて川に入る。子供たちがついて来て、四、五日前に磯原の警察の人が三人で来てヤマベを三十位づつ釣っていったと教えて、砂虫をとったり、チヨロをとったりしてくれて、立ち去ろうとしないそ朴な子供たちの愛情が却って山女魚を岩かげにとじ込める結果になってしまった。しかし叱るわけにもゆかない。山女魚の棲みよい好ポイントの連続である。川幅も一間半から二間位あり、水量も豊富である。同行のI氏は落ち込みで大物をかけ、子供にみせようとして後振りかえった瞬間、タテをゆるめて、バラして終い残念がっている。小生は右側の支流に入る。放牧の親子の馬が、のどかに枯草をはんでいた。つまらないヘチの岩かげにジャジャ虫を流すとびつく。滝壺や深みを探って釣りあがる。背後で声がするのでふりむくと、馬車に所帯道具をつんだ若い夫婦連れが、互に一人ずつ子供を背負ってのどかに里に下ってゆく。まだ木々の芽はかたく、初鶯はぎこちなく啼いている。こんな山奥にもふきのとうが頭を出している。山女魚の魚影は濃い。男大平あたりにくらべると、まだ釣り人は繁くない。

部落から半道位釣りあがったろうか、ひどく空腹を覚える既に三時である。ビクを見たら九寸以下八尾である。山小川を下り宮行前に来たら釣竿をかついだ男がいた。日立から来たとか。中の沢までに四人いた。男大平までで八人に出あった。日曜日はこの四時川もお祭りである。よほど早くゆかないと先行することはできない。そのときはあきらめて、丹念に瀬を釣って小型をたのしむのも一方法である四時半男大平をあとに車をとばし六時頃帰宅する。

春深し四時の渓に山女魚釣る
銀鱗の山女魚をビクに禁解ける
紅椿ビクの山女魚に一枝添う
猫柳ギラギラ光り山女魚釣る

経済川柳

渡辺一角

旅の句

トンネルを孫と数える　旅日記
語れないマッチに残る　旅の恥
みちのくの訛りで語る　ときわ号
旅馴れて夢なんぞない　終列車
道間えばどこまで行っても　もう一里
旅先もチョーク臭うか　お辞儀され
心中と同じコースで　月をほめ
故郷の一と夜も入れて　旅費丁度
汽車の旅貰え欠伸が　連となり

火災に備えて
中央式消火器
福島県総代理店
援護化学研究所平出張所
平市月見町六四　電五、六九二

上映中
気分を出してもう一度
恋人たちの森
4月18日より
荒鷲の翼
鉄の意志と情熱の男を描く笑いと感動の名篇！
ジョン・ウエイン
モーリン・オハラ
ダン・デイリイ
巨匠ジョンフォード監督
復讐の谷
野性の血が、男の意地が血を呼び嵐を捲き起す凄絶篇！
バート・ランカスター
監督リチャード・ソープ
聚楽館

上映中
ブタ箱は満員
大相撲大阪場所実況
4月17日～25日
65秒 抜く手も見せぬガンさばき！颯爽荒野を行くエースのジョー
早射ち野郎(天)
宍戸錠・笹森礼子
4月19日～25日
暴走するダンプカー、乱れ飛ぶ火焔、敢然非常線を突っ走る捨て身の捜査班
機動捜査班
青木恭二・吉行和子
日活 平館

特選3本立
東映スコープ
上映中
江戸の朝風(天)
不良少女
江戸つ子野郎と娘たち
4月19日～25日
〔孤剣は折れず〕
月影一刀流
美空ひばり・鶴田浩二
殴り込み艦隊
海の男の意気を見ろ、大平洋海空戦に爆発する駆逐艦「黒雲一家」の斗魂
〔越後獅子祭り〕
やくざ若衆
中村錦之助・千原しのぶ
三夜東映
大人77円 学生55円 小人40円 早朝割引55

4月21日まで
話題を呼んで絶賛上映中！
【連日満員御礼】
大猛獣映画巨篇！
総天然色・ビスタビジョン
ジャングル キャツト
千古の謎秘めた大アマゾンに描く猛獣の斗争！
日本RKO映画提供
総天然色ビスタビジョン
海賊船
大活劇！海賊映画の決定版！
ピーター・フインチ
ジエイムス・マッカーサー 主演
ひかり座